
熱血！アニメゲームリーグ戦

阪神虎之介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱血！アニメゲームリーグ戦

【Nコード】

N6439Z

【作者名】

阪神虎之介

【あらすじ】

作者さん達のチームも参加するリーグ戦が幕を開ける！！

それぞれの作品から出てきたみんなが白球を追いかける！！

【登場作品】

・けいおん！・けいおん！！・とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・スーパーマリオブラザーズ・ドンキーコング・ドラえ

もん・こちら葛飾区亀有公園前派出所・ポケットモンスター・ウル
トラマンシリーズ・ウルトラマンゼロ・海賊戦隊ゴーカイジャー・
けいおん！在校生編・けいおん！大学生編

チーム紹介（前書き）

開催の理由は「色々な作品との交流」と考えてもらってください。

後あまり考えずに野球だけ考えてください。

試合はプロ野球の試合を参考にしていきます。

チーム紹介

【小説ウィテングス】

監督・阪神虎之介

作者さん達で集めたチーム。左腕のエースikkikiを筆頭にコンピューター紀葉等個性的な選手が集まる。

【桜ヶ丘ティータイム】

監督・山中さわ子

「けいおん!」のメンバーだけで集めたチーム。変則投法の平沢唯に恐怖の3番打者平沢憂の平沢姉妹を筆頭に投打共に充実している。

【学園都市ゴールデンガールズ】

監督・木山春生

「とある科学の超電磁砲」の女性キャラのチーム。

一番御坂、二番初春のコンビにエースで四番の佐天が機能すれば壊滅的な打線となるが弱点は打線重視のチームの為、一回押さえ込まれるとダメになる。

【マリオマリナース】

監督・マリオ

「マリオ」のチーム。

エースドンキーの球質の重さは論外。マリオルイージ兄弟のクリーンアップ次第で勝敗が左右される。

今はどうか知らないけど昔任天堂がシアトルマリナーズのスポンサーだった関係でチーム名が「マリナーズ」になった。

【ジャイアンズ】

監督・剛田武

ご存じ「ドラえもん」のチーム。

監督兼エース兼主砲の剛田武のワンマンチームかと思えば、天才出木杉、未来の猫型ロボットドラえもん等伏兵が多い。調子こいてると普通に負けます。

【インデックス】

監督・一方通行

「とある魔術の禁書目録」からのチーム。

能力の問題で一方通行が監督に回ったがフラグ建築士上条、タバコを吸う14歳ステイル、妹思いの主砲土御門のクリーンアップが特徴。

【ポケットモンスター】

監督・オーキド

「ポケットモンスター」のチーム。

【亀有ポリスマンズ】

監督・両津勘吉

「こちら葛飾区亀有公園前派出所」のチーム。

「両さん」のこと両津勘吉を筆頭に長年「ジャンプ」に連載された力を武器に戦う！

チーム紹介（後書き）

開幕戦

「小説ウイテングスvs桜ヶ丘ティータム」

【小説ウィテングスvs桜ヶ丘ティータム】試合開始前

＼QVCマリンフィールド＼

幕張メッセの隣にある球場だ。

開門時間前から球場の周りには大勢のファンが詰めかけている。

＼球場内＼

「小説ウィテングス」の面子が試合前のミーティングを行っている。

阪神虎之介

「今回はお集まり頂きありがとうございます」

この作品の作者で一応監督をやる阪神虎之介。ポジションはどこでもやる予定。

阪神虎之介

「皆さんもそうですよ」

ikkiki

「そうですか…」

ikkikiさん。中日ファンである。左投げのアンダースローから繰り出されるシンカーが武器である。投手の為、中日の投手応援歌を使う。

セブンの独り言

「まあ俺はどこでもやれるけど」

セブンの独り言さん。

強肩強打の捕手。広島東洋カープの石原慶幸選手の応援歌を使う。

しら

「楽しみです！」

しらさん。守備も出来るし打撃も出来る。最高の打者である。千葉ロッテの根元の応援歌を使用。

scarlet

「やってやろうじゃん！」

scarletさん。千葉ロッテファン。所謂マリサポである。急遽電話で作者に「やっぱり細谷に変えて」と言ってきたので千葉ロッテの細谷の応援歌使用。

紀葉

「初戦はけいおんですか」

紀葉さん。頭脳明晰な打撃を持っている。伝説的な守備も魅せる。福岡ソフトバンクの内川選手の応援歌使用。

ウルトラマンゼロ

「勝つぞ！」

ウルトラマンゼロさん。身体能力抜群のヒーローである。DREA

M F I G H T E Rを応援歌使用。

鷹峯

「やりますか」

鷹峯瑛さん。守備が上手く、常にヘッドスライティングの精神を持つ。東京ヤクルトの田中浩康の応援歌使用。

千歳涼介

「けいおん叩きますか!!」

千歳涼介さん。堅実な守備と打撃が持ち味だ。

双樹槇

「昨日は寝ませんでしたよ」

双樹槇さん。足が速く、トップバッターの理想である。千葉ロッテの岡田を応援歌使用。

阪神虎之介

「この日の為に千葉ロッテマリーンズ、阪神タイガース、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズ、福岡ソフトバンクホークスの応援団の方々が来てくれました」

s c a r l e t

「オオ」

i k k i

「洗脳応援か」

阪神虎之介

「では本日のスタメンを発表します」

? 双樹楨（右）

? 鷹峯琰（左）

? 紀葉（三）

? ウルトラマンゼロ（遊）

? しら（一）

? セブンの独り言（捕）

? 千歳涼介（中）

? scarlet（二）

? i k k i（投）

阪神虎之介

「それでは初戦絶対勝つぞ!!!」

全員

「オオ!!!」

（フィールド）

「桜ヶ丘ティータイム」の選手が打撃練習を行っている。

ちょうど始まった時と開門の時間が被るのでファンが入ってきた。

山中さわ子
「来たわね……」

【小説ウイテングスvs桜ヶ丘ティータイム】試合開始前（後書き）

出ていない作者さんも試合中は絶対出しますので。

後活動報告の「始めました。」の所注意を見といてください。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（前書き）

スタメン発表は懲りました（笑）

作者さん呼び捨てなのは勘弁してください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表

（試合開始30分前）

アナウンス

「それでは両チームの監督によるスタメン交換です」

阪神虎之介

「はいはい」

山中さわ子

「じゃ行ってくるわ」

阪神虎之介と山中さわ子はホームベースに行く。

敷田

「今日の責任審判の敷田です」

阪神虎之介

「よろしくお願いします」

山中さわ子

「こちらこそ」

アナウンス

「お待たせしました。只今よりリーグ戦第1回戦小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイムのスターティングラインアップ及びアンパイアを発表致します。まず先攻の桜ヶ丘ティータイム、一番、ショート、中野梓」

【パラララ〜】「それ、あ・ず・さ!」
アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

【パラララ〜】「それ、み・お!」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

【パラララ〜】「それ、う・い!」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

【パラララ〜】「それ、り・つ!」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

【パラララ〜】「それ、むぎ!」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

【パラララ〜】「それ、まなべ!」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

【パラララ〜】「それ、じゅん!」

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

【パラララ〜】「それ、奥田!」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

【パラララ〜】「それ、ゆい!」

【パ〜ラララ〜、パ〜ラララ〜、パッパッパ、パッパッパ、パ
〜パッパッパ〜】

応援団長

「それ!」

【パパパ〜パパパッパ〜パ〜パ〜パパパ〜】「オ、ハイ!!」
【パパパ〜パパパッパ〜パ〜パ〜パ〜パ〜パパパ〜】「それ

ハイハイハイ!!」

アナウンス

「続きまして、後攻の小説ウイテングス!!一番、ライトオ双樹槇」

【ダダン】「ふゝたゝき!」【ダダン】「ふゝたゝき!」【ダダン】
「ふゝたゝき!」

アナウンス

「二番、レフトオ、鷹峯瑛!」

【ダダン】「鷹峯!」【ダダン】「鷹峯!」【ダダン】「鷹峯!」

アナウンス

「三番、サードオ、紀葉」

【ダダン】「のーりーは!」【ダダン】「のーりーは!」【ダダン】
「のーりーは!」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ!」

【ダダンダン】「ゼロ!」【ダダンダン】「ゼロ!」【ダダンダン】
「ゼロ!」

アナウンス

「五番、ファースト、しら!」

【ダダン】「しら」【ダダン】「しら」【ダダン】「しら」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言!」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介!」

【ダダン】「ち、と、せ!」【ダダン】「ち、と、せ!」【ダダン】
「ち、と、せ!」

アナウンス

「八番、セカンド、scarlet!」

【ダダンダン】「scarlet!」【ダダンダン】「scarl
et!」【ダダンダン】「scarlet!」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikki!」

【ダダッダン】「ikki!」【ダダッダン】「ikki!」【ダ
ダッダン】「ikki!」

【ピッピッピーピーピー!】「オ、ロッテ!」

阪神虎之介

「あ!応援団リードミスしやがった!」

アナウンス

「アンパイアは主審敷田、塁審、一塁村田、二塁三出川、三塁小寺、公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（後書き）

桜ヶ丘ティータイムには広島東洋カープの応援団と横浜ベイスターズの応援団が来てます。

小説ウィテングスのスタメン発表は千葉ロッテマリーンズのスタメン発表そのままです。

興味がありましたらYouTubeに投稿されているので

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】試合開始！1回表

試合開始直前に阪神虎之介が円陣を組む。

阪神虎之介

「それでは頑張ってください！後、風速12Mなのでお気をつけて
(笑)」

ikki

「マジかよ!？」

QVCマリンフィールドは海風の影響で風が強い時がある。過去に
「強風による中止」があるほどだ。

今回はバックネット方向に12Mの風が吹く。

アナウンス

「それでは小説ウィテングスの選手が守備に着きます。」

応援

「ワッ!」

ikki

(嫌だな、マリンで風が強いのは)

「ikki!ikki!ikki!ikki!」

スタンドからikkいさんを応援するコールが聞こえる。

アナウンス

「一回の表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓
！」

桜ヶ丘ティータイムはアウェイなので入場曲は無しである。

応援

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あ
ずさー！」

敷田主審

「プレイ！」

ikkい

（最初どうします？）

セブンの独り言

（打ち上げるのは厳禁！低めにシンカーを）

ikkい

（了解）

ikkいさんが振りかぶって投げる！

【ピシュ！】

中野梓

（ボール…）

敷田主審

「ストライク！」

中野梓

「え？」

セブンの独り言

「ナイピー！」

i k k i

「ふう」

セブンの独り言

（次も低めにシンカー…）

i k k i

（了解）

【ピシュ！】

中野梓

（これはストライク？）

【バシ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

中野梓

「ええ！」

平沢唯

「あゝずにゃくん、バット振らなかったらアウトだよ」

真鍋和

「唯…」

平沢唯

「なに？」

真鍋和

「マトモな事言っわね…」

中野梓

（次は…）

セブンの独り言

（内角低めに直球）

i k k i

（OK）

【ピシュ！】

中野梓

（来た！）

【カキーン！】

セブンの独り言

「しまった！」

紀葉さんとウルトラマンゼロさんの間を…

ウルトラマンゼロ

「シュワ！」

中野梓

「ゲッ！」

しかしそのまま一塁送球するが…

【バシ！】

【ダン！！】

しら

「アウト！」

村田墨審

「セーフ」

中野梓

「にゃあ〜」

奥深った為、内野安打に…

i k k i

「クッソ…」

アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

応援

「決める！決める！澪！決める！決める！澪！」

「決める！」とは送りバントの事である。

実際秋山澪はバントの構えだ。

紀葉

（前進、前進）

しら

（内野は全員前進してるな…）

i k k i

（高めに投げたい）

セブンの独り言

（高めに…）

i k k i

（よしきた）

【ピシュ！】

【カキーン！】

i k k i

「あ！」

まさかの秋山、バスターで打つ。

しかしボールに力無く、セカンドscarletのフライ…

scarlet

「え？え？」

i k k i

「はあ」

しら

「うそお！」

一塁の方向に来て1、2塁間にポトリ

その隙に一塁ランナーは三塁へ

いきなり無死1、3塁のピンチ！

セブンの独り言

「今のがマリンの恐怖…」

しら

「12Mって凄いですね」

紀葉

「憂でゲッツに取りましょう!」

i k k i

「ああ、この際1点はあげるわ」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

セブンの独り言

(…しかし高めだと風でどうなるか分からないし低めは読んでるだろうな…)

i k k i

(様子見を)

セブンの独り言

(様子見るかあ)

【ピシュ!】

敷田主審

「ボール!」

ik ki

（それで内角にシンカー…）

セブンの独り言

（外角にシンカーを）

ik ki

（いや内角に）

ik kiさんが顔を横に振る。

セブンの独り言

（じゃあ内角？）

ik ki

（そうそう！）

ちなみに平沢憂は

平沢憂

（ik kiさんのさっきの振りはセブンさんが内角要求したのを外角にしてくれて頼んだんだわ）

ik ki

（ほい！）

【ピシュ！】

平沢憂

「しまった！」

ついバットが出てしまう。

【カアキン！】

フライだ！

i k k i

「キャッチャー！」

セブンの独り言

「オーライ！」

しかし打球は…

フェアゾーンからファウルゾーンへ…

セブンの独り言

「とつとつと…あ！」

セブンの独り言さんが足を滑らし、転倒しかけ打球が

敷田主審

「アウト！」

セブンの独り言

「え？」

紀葉

「間に合った…」

三塁から全速力で走ってきた紀葉さんがスライディングキャッチを決めた！

ライトスタンド（小説側）

「オ〜！」

平沢憂

「凄い…」

平沢憂も感服するしかない。

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

すると今まで流れていた。「広島東洋カープチャンステーマ？」から元千葉ロッテマリーンズの西岡剛選手の2009年までの応援歌「カチューシャ」に変わった。

応援「オ〜オ〜オ〜オ〜オ〜オ、オ〜オ〜オ〜オオオ…」

ikki

（むしろ…律より憂の方が怖かったw）

セブン独り言

（低めを引っ掛けましょう！）

【ピシュ！】

田井中律

「もらったあ！」

【カキーン！】

scarlett

「はいっ」

scarlettが取って二塁へ

ウルトラマンゼロ

「それっ」

二出川塁審

「アウト！」

リズムに乗ってウルトラマンゼロさんが一塁へ

しら

「アウトっ」

村田塁審

「アウト」

田井中律

「ぎゃあ！」

4ー6ー3のダブルプレー！

無死1、3塁のピンチからikkisanが乗り切った。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表（後書き）

桜ヶ丘――0

小説――

桜ヶ丘

平沢唯／田井中

小説

i k k i / セブンの独り言

【一回表】

？中野梓

2ストライクと追い込まれたがレフト前にヒット。

？秋山澪

送りバントの構えを見せたがヒッティング、12Mの風も味方しラ
イト前にヒット。

？平沢憂

狙いを外されキャッチャーフライと思いきや、またしても12Mの
風が邪魔するが、三塁紀葉が好補。

？田井中律

攻撃的な打撃が裏目に出て、4ー6ー3のダブルプレー。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（前書き）

途中で作者さんの名前が呼び捨てになっている箇所がございます。

ご了承ください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏

桜ヶ丘ティータイムの攻撃が終わり、桜ヶ丘ティータイムの選手が守備につく。

阪神虎之介

「先発平沢唯ですか」

i k k i

「どうなんだろ？彼女？」

平沢唯

「行くよりっちゃん！」

田井中律

「来い唯！」

平沢唯が投球モーションに入った。

阪神虎之介

「なんだあれ！？」

双樹槇

「うわ！」

千歳涼介

「始めてみるなあフォーム」

紀葉

「変則か」

阪神虎之介

「あつ、でもあれヒラヒラ投法だ！」

i k k i

「よく見るとそつだね」

阪神虎之介

「打てなくは無いだろ？」

双樹槇

「はい」

阪神虎之介が先頭打者の双樹槇さんに話しかける。

アナウンス

「1回の裏、小説ウイテングスの攻撃は、1番、ライトオ、双樹槇」

双樹槇

「ウツシ！」

田井中律

（唯、最初は様子見のボールな）

平沢唯

（うん）

唯が振りかぶって投げる。

【バシ】

敷田主審

「ボール」

双樹槇

（これは様子見だな）

田井中律

（唯、次はコレ）

平沢唯

（うん）

【ピシュ！】

双樹槇

（おっと）

【バス】

敷田主審

「ボールツウ」

双樹槇

（ボールが手前で落ち込んだ、チェンジアップか？）

双樹槿はそう考える。

田井中律

（唯、決めちゃえ！）

平沢唯

（うん！）

【ピシュ！】

双樹槿

（ストライクゾーンに来た！）

【カキン！】

打ち上げてしまった。

双樹槿

「畜生！」

しかしやっぱり12Mの強風が邪魔し…

バックネットに当たり

敷田主審

「ファールボール！」

双樹槿

「ふう〜」

田井中律

「えゝ、こんなものあり？」

双樹槿は構え直す。

ライトスタンドから声援が聞こえる。

「双樹！ヒット！双樹！ヒット！」

双樹槿

（じゃあさ）

平沢唯が投げる。

【コン】

双樹槿

（こんなのもありな訳だ）

サード憂へのセーフティーバント

意表をつかれた憂がボールを素手で掴み投げようとするが

双樹槿

「はいセーフ」

平沢憂

「遅かった…」

俊足の双樹槇が塁に出る。

アナウンス

「二番、レフト、鷹峯瑛！」

「黄金魂」の曲に合わせて鷹峯がバッターボックスに入る。

唯一塁にランナーがいるためクイックになる。

鷹峯

（監督、バントしますか？）

鷹峯は阪神虎之介に「バントするか」の確認をする。

阪神虎之介

（まだいいよ）

それを拒否

阪神虎之介

（ゲッツーでもいいから当たっていけ！）

平沢唯がクイックで投げる。

【ピシュ！】

【カキーン！】

初球を上手くレフトに打った。

「オ～オ～オ～オ～オオ…」

ヒットテーマが流れる。

アナウンス

「三番、サード、紀葉！」

無死1、2塁のチャンス！

打席には主力打者の紀葉さんが立つ。

観客？

「紀葉ア～、打って～」

観客？

「紀葉さあん！」

だからチャンステーマ発動である。

紀葉さんの場合、元々の曲が福岡ソフトバンクの内川のヒッティン
グマーチなので、福岡ソフトバンクの「ワッショイ」がチャンステ
ーマに使われる。

「ワッショイワッショイ！」

紀葉

「すう～、はあ～」

打席の中で深呼吸する。

「紀葉！」

紀葉

（風はセンターから吹いてるから、長打は無理、だから軽打で相手のミスを誘う！）

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライク！」

紀葉

（そのためには外角の球が欲しい）

田井中律

（外角にボールを）

平沢唯

（はっい）

平沢唯が振りかぶって投げる。

外角のボールだが

紀葉

（（。。。）キター！）

【ガキン！】

田井中律

「ボール球を打った!？」

ボールはショートの中野梓の目の前に落ちる。

田井中律

「あずさ!一塁!」

中野梓

「はい!」

一塁に送球し、アウトになったが

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ!」

ウルトラマンゼロ

「シュワ!」

大型遊撃手である。

ここで初めて山中監督が動く!

山中さわ子

(敬遠しなさい)

田井中律

(はい)

平沢唯

（わかった、さわちゃん）

そして…

敷田主審

「ボールフォア！」
一死満塁

やっぱりチャンステーマが止まらない！

しら

（よっしゃ）

しらさんが気合いを入れ直す。

田井中律

（外野バック、バック）

外野が微妙に下がる。

「ワッショイ！ワッショイ！」

最早、外野スタンドはお祭り状態だ。

平沢唯

（りっちゃん、私低めに投げたい）

平沢唯が田井中律にそう要求する。

田井中律

(いいよ)

しかしこれが命取りになる。

【ピシュ！】

田井中律

「あ！！」

ボールが高めに来た。

しら

「もらったあ！」

【カアキン！】

喝いた音が聞こえた。

レフトの真鍋和が下がる下がる。

がら空きの外野に落ちた。

「ワアアアアアアア！！」

ライトスタンドから歓声があがる。

真鍋和が打球に追いついて投げても既に3人が返ってきてた。

しらのタイムリー3ベースヒットである。

マウンドに集まる桜ヶ丘ナイン

田井中律

「唯ドンマイ、私が悪かった」

平沢唯

「別にいいよ、失投した私も悪いから」

中野梓

「まだ一回ですから」

田井中律

「それより得点されたショックを背負うなよ」

平沢唯

「うん！」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

セブンの独り言

「ウッシ！」

「続け、続けセブン！続け、続けセブン！」

一死三塁

レフトスタンドに陣取っている広島応援団は複雑な気持ちだ。

なぜならいつもなら自分らがやる曲だから

平沢唯

（どうするの？）

田井中律

（パワーで押すタイプだから低めで）

平沢唯

（はい）

【ピシュ！】

セブンの独り言

（初球は見送る）

敷田主審

「ボール！」

律は唯にボールを返した瞬間、「力抜け」とジェスチャーした。

平沢唯

「ふう〜」

一回深呼吸した後、律を見る。

セブンの独り言

（俺みたいなバッターだったらボール球誘って引っ掛けるはずだ）

自分もキャッチャーであるセブンの独り言は律のリードを予測する。

田井中律

（徹底的に低めを攻めるよ）

【ピシュ！】

敷田主審

「ボールツウ！」

セブンの独り言

（低めを中心に攻めるなあ）

セブンの独り言は敷田主審にタイムをかけた。

敷田主審

「タイム！」

セブンの独り言はバットを構え直す。

セブンの独り言

「どうも」

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（低め！低め！）

平沢唯

（うん！）

ちなみに内野はバックホーム態勢である。（前進守備）

【ピシュ！】

セブンの独り言

（これもボール）

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ぐっ…」

2ボール1ストライク

平沢唯

「ほい！」

【ピシュ！】

【ガキン！】

ボールはファウルゾーンへ

村田墨審

「ファール」

山中さわ子

「アイツ粘るわね…」

セブンの独り言

「ふ〜」

平沢唯

「りっちゃんどうしよう〜」

田井中律

「落ち着け唯」

セブンの独り言

（低めにヤマはるか）

平沢唯がサインを確認する。

田井中律

（徹底的に低め）

平沢唯が振りかぶって投げる。

【ピシュ！】

低めの直球

【カキーン！】

狙い打ちした。

打球はライトに飛ぶ飛ぶ…

しかし風に戻される。

しら

「タッチアップかな？」

さあライトの秋山澪が捕球する！

三塁コーチ

「GO！」

しらさんがタッチアップ！

田井中律

「ノーカット！」

中継しないで直接投げるよう指示。

ライトから良い球が返ってくる！

しらさんがホームベースに突っ込む！

【ズザザザザ…】

判定は…

敷田主審

「セーフ！」

しら

「よっしゃー！」

阪神虎之介

「4点目」

小説4ー0 桜ヶ丘

山中監督がマウンドに行く。

山中さわ子

「唯大丈夫よ、落ち着いていきなさい」

平沢唯

「うん…」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介」

B・z「Don't wannalie」が流れる。

千歳涼介

「まさか1回で打席に立つとは…」

阪神虎之介

（初回到4点も取れたのは凄い…）

ikki

「すいません、俺は準備しといた方がいいですか？」

さつきまで i k k i さんは鷹峯さんの打席の時からグラウンドの片隅で投球練習をしていたが、もう七番なので打席に立つ準備をするかと聞いてきた。

阪神虎之介

「うーん、八番の s c a r l e t さんが打席に立つたら準備して」

【カキン！】

阪神虎之介

「あー！！」

二出川壘審

「アウト！」

千歳涼介

「チッ」

阪神虎之介

「ナイスバツティング！」

千歳涼介さんはジャストミートイングしたが、余りにも当たりが良すぎてセカンドライナーに終わった。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（後書き）

1回裏終了

桜ヶ丘 0 — 0

小説 4 — 4

桜ヶ丘 平沢唯／田井中律

小説 i k k i / セブンの独り言

【小説ウィテングス】

？双樹槇

意表のセーフティーバントで出塁。

？鷹峯瑛

初球打ちでレフト前ヒット。

？紀葉

上手くショートゴロで後に繋げる。

？ウルトラマンゼロ

敬遠される。

？しら

平沢唯の高めの失投を巧打。普通ならホームランだが12Mの風により3ベース。

？セブンの独り言

ライトへの犠牲フライで4点目。

？千歳涼介

ジャストミートイングしたがセカンドライナー！。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】2回表（前書き）

他球場の途中試合経過

学園都市ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ（明治神宮野球場）

学園都市1ー0マリオ（2回表終了）

【学園都市投手】

佐天

【マリオ投手】

ドンキー

インデックス対亀有ポリスマンズ（横浜スタジアム）

インデックス0ー3亀有（2回表途中）

【インデックス投手】

上条

【亀有投手】

両津

ポケットモンスターズ対ジャイアンズ（わかさスタジアム京都）

ポケット0ー6ジャイアンズ（1回表途中）

【ポケット投手】

サトシ・レッド

【ジャイアンズ投手】

剛田

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表

先制のタイムリー3ベースヒットを放ったしらさんに応援団がコールする。

「し〜ら【ダダン】「し〜ら【ダダン】「し〜ら

しら

「ありがとう!」

しらさんがライトスタンドへ応える。

スタンドが湧く。

「ワアアアアアアア!」

アナウンス

「2回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、五番、ファースト、琴吹紬」

「むーぎちゃん!」

セブンの独り言

（パワーヒッターだ、気をつける…）

内野は後退する。

紀葉

（サードに來い、捌いたる）

「むぎぎ！むぎぎ！むぎぎ！」

広島応援団の元、レフトスタンドではスクワット応援が行われる。

セブンの独り言

（最初はボールで）

i k k i

（了解）

【ピシュ！】

琴吹紬

（フフフ…）

【カキーン！】

i k k i

「な！」

外のボール球を振った。

しかも…

しら

「はっや！」

ファーストを抜けた。

しら

「なんだ今の!？」

紀葉

「はええ…」

琴吹紬

「フフフ…」

ikki

「またノーアウトでランナーか…」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

平沢憂同様に打てる6番打者である。

真鍋和

（上手く風に乗せて行けば）

そう考える真鍋和

紀葉

（風に乗せるかも）

ikk iさんが振りかぶって投げる。

【ピシュ!】

内角高めの直球だ。

【カキン！】

それを打つ。

scarlet

「とれへんわ」

打球はちよつと押し戻されてセンター前に

千歳涼介

「これで無死1、2塁かあ」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

紀葉

「タイムお願いします」

小寺墨審

「タイム！」

紀葉さんがマウンドに駆けつける。

紀葉

「ikkiさん、4点リードなんでのんびり行きましょうよ」

ikki

「そうですね、4点取られてもいいんですから」

紀葉さんがサードに戻り、試合再開

山中さわ子

「4点ビハインドよ！この回1点でも多く返すわよ！」

ikkiさんが振りかぶって投げる。

【ピシュ！】

鈴木純

「わっ！」

敷田主審

「ストライク！」

鈴木純

（手前で球が伸びてる…）

セブンの独り言

（吹っ切れたようだな）

ikki

（今の俺はド真ん中に投げても打たれないぜ！！）

セブンの独り言

（外角高めに変化球）

ikki

（了解！）

【ピシュ！】

鈴木純

「う！」

敷田主審

「ストライクツウ！」

鈴木純

（今の振ったら確実にゲッツーだった…）

セブンの独り言

（引つかかれよ…）

そう悪態をつくセブンの独り言

セブンの独り言

（それでは内角低めに沈むシンカーで、ボールになってもいいです）

i k k i

（はい）

【ピシュ！】

鈴木純

「これ打てる！」

【カキーン！】

打球はショートへ

ウルトラマンゼロ

「シュワチ！」

ウルトラマンゼロさんが思い切りジャンプするが…

小寺墨審

「フェア！」

レフトへヒット

無死満塁

アナウンス

「八番、センターア、奥田直」

「誰だあゝ！？」

観客の野次が飛ぶ

今年から始まった「けいおん！在校生編」の新キャラである。

奥田直

「はあゝ…」

果てしなく奥田直は落ち込んでいる。

奥田直

（なんで斉藤さんが選ばれないのですか？）

セブンの独り言

（まあコイツだったら満塁HR無いな…）

i k k i

（代打出してやれよ…）

i k k iさんも低評価だ。

セブンの独り言

（ここでゲッツーにしますか）

i k k i

（はい）

【ピシュ！】

奥田直

「わぁ！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ビビってんの？」

奥田直

「え…」

セブンの独り言

（雑魚だから別にド真ん中でもいいよ）

i k k i

（はい）

【ピシュ！】

奥田直

「あ！」

【カァキン！】

紀葉

「よつと」

【バシッ！】

小寺墨審

「フエア！」

打球は三塁紀葉へ

紀葉さんが三塁ランナーの琴吹紬を確認すると

ホームフォースアウトには間に合う

しかし紀葉さんは三塁を踏む

小寺塁審

「アウト！」

三塁フォースアウト

紀葉

「セカンドオ！」

セカンドへ送球。

s c a r l e t

「よっしゃあ！」

s c a r l e tさんが二塁踏んでセカンドフォースアウト。

s c a r l e t

「しらさん！」

s c a r l e tさんがしらさんに送球する。

最悪トリプルプレーだが

奥田直

「わあああ！」

こけたようなヘッドスライディングだが

村田塁審

「セーフ！」

「うおおお！」

ゲッツーだが1点を返した。

小説4ー1桜ヶ丘

奥田直

「ハアア」

しら

「ナイスファイト」

奥田直

「あ、ありがとうございます…」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

「ゆーいちゃん！」

平沢唯

「よっし！」

セブンの独り言

（コイツは良く分からないな…天然キャラだけに）

i k k i

（どうします？）

セブンの独り言

（とりあえず内角に威嚇）

i k k i

（威嚇ですね）

【ピシュ！】

平沢唯

「ヒヤア！」

敷田主審

「ボール！」

阪神虎之介

（危ないな今の…）

セブンの独り言

（やり過ぎ…今の失敗したら危険球退場だぞ…）

i k k i

（威嚇だけに）

セブンの独り言

（次は外角で）

【ピシュ！】

【カキーン！】

i k k i

「よっしゃあ！」

ikk iさんが捕球し一塁へ

村田塁審

「アウト！」

無死満塁から紀葉さんのナイス判断力もあり1点で抑えた。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（後書き）

桜ヶ丘 01 — 1

小説 4 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikki／セブンの独り言

？琴吹紬

目の覚めるような弾道でライトにヒット

？真鍋和

風に上手く乗せてセンターにヒット

？鈴木純

レフト前ヒット

？奥田直

サイドゴロで紀葉さんがホームフォースアウトよりゲッツーかトリプルプレーにした方がいいと判断し、ゲッツーに

？平沢唯

内角への威嚇球でビビったのかと思いきや外角のボールは打ったが
ピッチャーゴロ

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】2回裏

4ー1と小説ウィテングス3点リードの中、打席にはscarlettさんが立った。

平沢唯

「よし！」

田井中律

「しまつていくぞー！」

そう叫んで田井中律はマスクを被る

田井中律

（最初はチェンジアップだ）

平沢唯

（うん！）

【ピシュ！】

【カキン！】

田井中律

「セカンドオ！」

鈴木純が華麗に捌いて1アウト。

アナウンス

「九番、ピッチャー、i k k i」

i k k iさんが打席に立つ。

i k k i

（俺ピッチャーだからここは三振で行こう）

そして…

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

それと同時に名物の「卍」が見れた。

阪神虎之介

「あれが敷田さんの卍かぁ」

バッターは一巡して一番双樹槇

運動会でお馴染みの「天国と地獄」が流れる。

平沢憂

（またセーフティーがあるかも…）

平沢憂が前進する。

田井中律

（こいつには初球チェンジアップで…、セーフティーがあるかも知れないから）

律もそう考える。

平沢唯

（わかった）

【ピシュ！】

【サッ】

敷田主審

「ボール！」

ちょっと低め過ぎてボール。

田井中律

「次は高めに直球」

平沢唯

「わかった」

【ピシュ！】

すると双樹槇が、バットを持ち替える。

田井中律

「しまった！」

【カキーン！】

バスターである。

前進守備の平沢憂へ流し打つ

平沢憂

「キャア！」

しかし打球は

中野梓

「ニヤア！」

中野梓がキャッチ！

そして送球。

村田墨審

「アウト」

3者凡退

阪神虎之介

「嫌だなあ……この感じ……」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

桜ヶ丘 01—1

小説 40—4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikki／セブンの独り言

?scarlet

チェンジアップを打つがセカンドゴロ

?ikki

見逃し三振

?双樹槇

バスターするが中野梓のファインプレーでチェンジ。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表

アナウンス

「3回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、シヨート、中野梓」

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！」

レフトスタンドからかつ飛ばせコールが聞こえる。

そしてライトスタンドの一部のファンから

「サードヘライナーあずさ！サードヘライナーあずさ！サードヘライナーあずさ！」

試合中の作者みたいな事をやっているファンがいた…

ちなみにこれを読売の長野にやったら本当にサードライナーになってくれたw

そして我らがドヤ顔新井さんと紀葉さんだったら期待度は遥かに違う。

新井>紀葉

そう話しているうちに2ボール2ストライク

中野梓

「打ってやるです!」

ikki

(セブンさん…、フルカウントにします?)

セブンの独り言

(ここで勝負を決める!内角に直球!)

【ピシュ!】

中野梓

「じゃあ!」

【カキーン!】

ikki

「うわぁ!」

ikkiさんの股間を破りセンター前ヒット。

山中さわ子

「いいわよーあなた達」

アナウンス

「二番、ライト、秋山濤」

山中さわ子

(3点差だから送りバンドなんかせずにガンガン行くわよ!)

秋山 澪

（むしろバンドしたほうがいいと思う…）

「熱く！熱く！ぶち当たれ！」

秋山 澪

「ヒイ！」

突然、レフトスタンドが「ライジングテーマ」が始まった。

ライジングテーマ…横浜チャンテ

中野梓の応援歌に横浜の石川を使っているため、勢い余った応援団がやり始めてしまった。

阪神虎之介

「この歌いいよね」

秋山 澪はガチガチだ。

セブンの独り言

（なんだこいつ、ガチガチに緊張してるな…）

i k k i

（それじゃ外角低めに直球）

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライク！」

平沢唯

「みおちゃんリラックス！」

秋山澪はバッターボックスから離れて深呼吸

セブンの独り言

「大変だな」

i k k i

（次…低めにシンカー）

セブンの独り言

（いいよ、ボールにしろ）

【ピシュ！】

秋山澪

「ヒイ！」

【カキン！】

敷田主審

「ファウルボール！」

2ストライクに追い込まれた。

阪神虎之介

「まずこれでバンドは使えない…」

セブンの独り言

（一球間を開ける、ボールにしろ）

i k k i

（了解）

【ピシュ！】

敷田主審

「ボール」

平沢憂

「澪さんしつかり！」

セブンの独り言

（ラスト！）

i k k i

（おう！）

【ピシュ！】

【バス！】

敷田主審

「スットライクアウトウ！」

卍！

秋山 澪

「ハア……」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

セブンの独り言

（一番嫌なバッターだ…）

i k k i

（初球高めのスライダー）

セブンの独り言

（絶対ボールにしろ）

【ピシュ！】

敷田主審

「ボール！」

山中さわ子

「憂ちゃんファイト！」

平沢唯

「うっいっ！」

風は相変わらずの12M

セブンの独り言

（低めをお願いします）

i k k i

(了解)

【ピシュ！】

【カキーン！】

紀葉

「くっ…」

打球はサード紀葉の頭上！

フェアかファウルか…

小寺墨審

「フェア！」

ギリギリフェア！

打球はレフトを転々とする。

レフトの鷹峯がようやくフェンスについた打球を送球。

セブンの独り言

「くっ…」

一死2、3塁

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

さつきゲツツーに終わった四番打者である。

田井中律

「行くわよ!」

セブンの独り言

(一塁空いてるけど)

阪神虎之介

(敬遠するなよ)

阪神虎之介は外野陣にバックホームの態勢を指示。

山中さわ子

(あっちは外野フライを狙ってるわね)

i k k i

(高めのフライ?)

セブンの独り言

(だから高めに、ボールが分からないような奴)

i k k i

(了解)

【ピシュ!】

田井中律

「よっしゃあ！」

【カキン！】

i k k i

「外野行つたぞー！」

センターへ打球が

三塁ランナーの中野梓はタッチアップの構え

千歳涼介

「バックホームー！」

そう叫んでバックホーム！

三塁ランナー中野梓タッチアップ！

セブンの独り言

「ノーカット！」

i k k i

「おっと」

送球はワンバウンドでホームへ

タイミングは微妙だ

セブンの独り言はタッチするが

セブンの独り言

「タッチタッチ！」

敷田主審

「セーフ」

「ワアアアアア！」

小説4ー2 桜ヶ丘

二塁ランナーは三塁へ

二死三塁

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

さつきはライトへ弾丸ランナーを放った紬がバッターボックスへ

山中さわ子

「いけいけ！」

4点差から2点差に…

阪神虎之介

（あちらさんイケイケムードだなあ…）

セブンの独り言

（嫌なバッターだコイツも…）

i k k i

（どうします？）

セブンの独り言

（まあこの風ならパワーがあっても届かないよな）

i k k i

（そうだな）

【ピシュ！】

【カキイン！】

i k k i

「あ！」

【バシ！】

紀葉

「よっし！」

小寺墨審

「アウトウ！」

三壘ライナー

阪神虎之介

「この回巻き返すぞ！」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表（後書き）

【3回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 — 4

？中野梓

センター前ヒット

？秋山澪

見逃し三振

？平沢憂

三塁線を突き抜ける2ベースヒット

？田井中律

センターへ犠牲フライ

？琴吹紬

サードライナー

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏

3回裏開始前に小説ウィテングス側が円陣を組む。

阪神虎之介

「ちょっと場の空気が悪いです」

双樹槇

「というと？」

阪神虎之介

「スコアボードを見てください」

そう言ってみんな一斉にスコアボードを見る。

すると

しら

「あ！」

紀葉

「あれ？」

阪神虎之介

「気づいてるかもしれませんが、ヒット数桜ヶ丘7本に対してウチらは4本です」

ikki

「効率よく点が穫れてる証拠じゃん」

阪神虎之介

「逆に見れば、押されてます」

i k k i

「まあそうだね…」

阪神虎之介

「そこでこの回から2ストライクまではボールを見送ってください」

しら

「何ですか？」

阪神虎之介

「ティータイム先発の平沢唯…彼女はもう体力限界まで来ています」

紀葉

「スタミナ無いんですね」

阪神虎之介

「そこで一気に削ります」

千歳涼介

「分かりました」

アナウンス

「3回裏、小説ウィテングスの攻撃は2番、レフトオ、鷹峯瑛」

「鷹峯さあん！」

「セーフティーセーフティー！」

鷹峯

「よしだったら」

鷹峯さんはセーフティーの構えを見せる。

田井中律

（セーフティー？）

平沢唯

（セーフティー！？）

【ピシュ！】

投球と同時に平沢唯は走る！

しかしバットを引く。

敷田主審

「ボール！」

田井中律

「何だよ……」

続く二球目

鷹峯

（バント……）

平沢唯

（また？）

また投球と同時に走る。

しかし見送る

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

（参ったな…揺さぶってる…）

田井中律はそう考えると平沢唯を見る。

彼女は明らかに肩で息をしている。

田井中律

（不味いな…）

田井中律はど真ん中に投げるように指示。

平沢唯

（わかった）

【ピシュ！】

また見送る。

敷田主審

「ストライクツウ」

阪神虎之介

「いいぞいいぞ」

田井中律

（次は高めの直球）

【ピシュ！】

【カキィ…】

敷田主審

「ファウルボール」

ワザと鷹峯さんは振り遅れる。

確実に粘っている証拠だ。

平沢唯

「ハアハア…」

田井中律

「唯、頑張れ！」

平沢唯

「う、うんりっちゃん」

平沢憂

「お姉ちゃん…」

ベンチでは

山中さわ子

「曾我部さん肩作って」

曾我部恵

『分かりました』

ブルペンに電話する。

結局、鷹峯さんには四球で出塁。

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉さんはネクストバッタースサークルでバットを回しながら打席に立つ。

2ストライク戦法は変わらない

紀葉

（だけどね）

【ピシュ！】

紀葉

「上手い所に来たら打つ！」

【カキイン！】

中野梓

「わぁ！」

シヨートを超えた。

レフト前ヒット

ウルトラマンゼロ

「さぁ、今度は打たせてくれよ……」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアア！」

スタンドが湧く

「頼んだ！」

ウルトラマンゼロ

「シュワッ！」

田井中律

（どうしよう…）

平沢唯

（りっちゃん）

平沢憂

「タイム、お願いします」

小寺墨審

「タイム」

平沢憂はマウンドに行く

平沢憂

「お姉ちゃん、頑張って」

平沢唯

「うっい」

平沢憂がサードに戻り、試合再開

平沢唯

「それ」

【ピシュ！】

高めのボール

田井中律

「マズい！」

【カキーン！】

平沢唯

「あ！」

打球はレフトとセンター…

奥田直

「あ…、あ…、あ…」

真鍋和

「奥田さん！任せて！」

奥田直

「はいい！」

しかし打球は

真鍋和

（これホームラン？）

ホームランかと思ったら

【ガシャン！】

風に戻されてもフェンス激突の当たり

バウンドボールを捕った真鍋和は中継の中野梓に投げる。

真鍋和

「ショート！」

しかしその間に鷹峯さんはホームイン

紀葉さんも三塁回る。

中野梓がボールをキャッチ！

田井中律

「バックホーム！」

中野梓

「はい！」

ボールをホームに送球。

【ズザザザザ】

田井中律

「わぁ！」

クロスプレーと思いきや、田井中律はショートバウンドした送球を取り損ないセーフ。

その間にウルトラマンゼロさんがホーム突入。

平沢唯

「りっちゃん！」

てつきり三塁に止まったと思った田井中律はビックリするがホームにボールを投げる。

【パシ！】

ウルトラマンゼロ

「シュワ！」

【ズザザザザ】

平沢唯

「キャア！」

平沢唯は転倒し…ボールを落とした。

敷田主審

「セーフ」

阪神虎之介

「よっしゃあ！」

ikk i

「やった！」

ウルトラマンゼロさんのランニングホームラン！

小説7-2 桜ヶ丘

そして、山中さわ子監督がマウンドに向かい

山中さわ子

「ピッチャー、曾我部恵」

敷田主審

「分かりました」

平沢唯、2回0/3、7失点で降板

田井中律

「大丈夫、敗戦投手にはしない」

平沢唯

「うん、みんなごめんね」

中野梓

「気にしないでください」

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、ピッチャーの交代を致します。平沢唯に変わりました、曾我部恵、ティータイムのピッチャー、曾我部恵」

レフト後方からリリーフカーが出てきた。

そしてそれに乗って曾我部恵が出てくる。

曾我部恵

「平沢さん後は任せて」

平沢唯

「お願いします」

ライトスタンドでは見計らったように阪神応援団による相手投手K
O時の曲「螢の光」が歌われ始めた。

「燃えろ！阪神タイガース！！」

そして静かな卒業ソングから一気に六甲おろしを歌い始める。

山中さわ子

「くう…」

阪神虎之介

「空気が変わった!」

規定の投球練習が終わり

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、しら」

しら

「よっし!」

曾我部恵

（田井中さん行きますか）

田井中律

（はい）

【ピシュ!】

しら

「おっ」

敷田主審

「ストライク!」

しら

（ボールが落ちた…フォークか？）

曾我部恵

（お次は…）

【ピシュ！】

しら

（お？）

敷田主審

「ボール」

しら

（何だ今の…スライダー？）

阪神虎之介

（変化球が多そうになって）

曾我部恵

（そして）

【ピシュ！】

しら

（ん？）

敷田主審

「ボールツウ」

阪神虎之介

（今の…って…）

i k k i

（まさか…）

しら

（ナツクル？）

曽我部恵

（フフフ…）

田井中律

（捕るのが大変）

しら

「タイム！」

しらさんは打席から一回離れる。

ネクストバッタースサークルまで戻ってセブンの独り言さんから滑り止めのスプレーを貰う。

セブンの独り言

「どうぞ」

しら

「ありがとう」

セブンの独り言

「ナツクルですね、あれ」

しら

「やっぱり」

セブンの独り言

「そうすると厄介ですね」

しら

「だな」

しらさんは滑り止めのスプレーを使うと打席に戻った。

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（ナツクル多用はあまりしたくない）

曾我部恵

（分かってるわ）

【ピシュ！】

しら

（ストレート）

【カキーン！】

平沢憂

「やつ！」

サードへ抜ける当たりだったが、平沢憂が上手く飛びついて送球。

【パシ！】

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

曾我部恵

（こつゆうバッターこそ）

【ピシュ！】

曾我部恵

（ナックルが使えるのよね）

【カキィ…】

セブンの独り言

「畜生！」

打球はピッチャーの前をいきピッチャーゴロ

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「七番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「ふう」

打席の中で千歳涼介さんは深呼吸。

【ピシュ！】

【カキン！】

阪神虎之介

「ナイスバッティング！」

千歳涼介

「じゃあ！」

ライト前ヒットで出塁。

s c a r l e t

「よし俺も！」

アナウンス

「八番、セカンド、s c a r l e t」

【カキン…】

中野梓

「はい！」

村田墨審

「アウト」

scarlet

「ダメでした」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏（後書き）

【3回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 3 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 / 田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 鷹峯琰

粘って四球

? 紀葉

上手く引つ張りレフト前ヒット

? ウルトラマンゼロ

フェンス激突のランニングホームラン

? しら

変わった曾我部恵の変化球に踊されたがサード強襲のヒット性のあたりを放つ、サードゴロ

?セブンの独り言

ピッチャーゴロ

?千歳涼介

ライト前に上手く流す

?scarlet

平凡なショートゴロ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6439z/>

熱血！アニメゲームリーグ戦

2011年12月28日12時53分発行